

2019年12月3日
空港施設株式会社

羽田空港内における断水事案について（ご報告）

11月6日（水）に羽田空港第2ターミナルビル等で発生しました断水事案につきまして、弊社は事案発生以降水道の水質維持に努め、常時水質検査と外部からの水道水以外の混入も含め給水施設の点検を続けて、異常のない旨公表しているところです。

今回事案の原因につきましては、弊社管理下の給水施設において水道管の亀裂や破損などの不具合は、一切確認されていないことから、羽田空港を所管されている国に、引き続き原因究明を続けて頂くようお願いしていたところでございます。

今般、国土交通省では、ホームページにて開示のとおり（下記参照）、水工学や水道事業、空港土木等に知見を有する有識者等からなる「羽田空港給水障害事案に関する検討委員会」を設置し、原因究明と今後の対応策について検討を行うことになりました。

弊社といたしましても、上記検討委員会が行う原因究明と今後の対応策についての検討に、全面的に協力して参る所存でございます。

以 上

【国土交通省ホームページ】

「第1回羽田空港給水障害事案に関する検討委員会を開催します」

（2019年12月3日付）

<http://www.mlit.go.jp/report/press/content/001318714.pdf>

① 羽田空港内での断水への対応について

2019年12月11日

事業内容

公募事業者として、国の施設を用いて同空港全域にわたり東京都から供給される上水を使って給水事業を実施

<経緯及び対応>

2019年11月6日

- 朝8時頃、第2ターミナル周辺の水道より塩分を感じるとの通報を受ける
- 即座に社内に対策本部（本部長：社長）を立ち上げ、一旦、水の供給を止めた上で、主な施設の水質を調査
- 異常のなかった主に空港の西側の地域はすぐに水の供給を再開
- 第2ターミナル等、主に空港の東側については塩分が含まれていたため、水道管の洗浄作業を実施

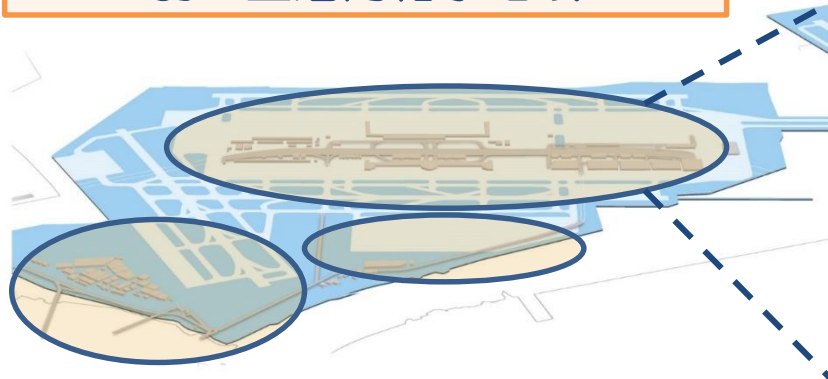
2019年11月7日

- 関係機関と連携し、水質調査・原因究明に継続して取り組む
- 各給水設備について清掃等を順次実施し、復旧作業に取り組む

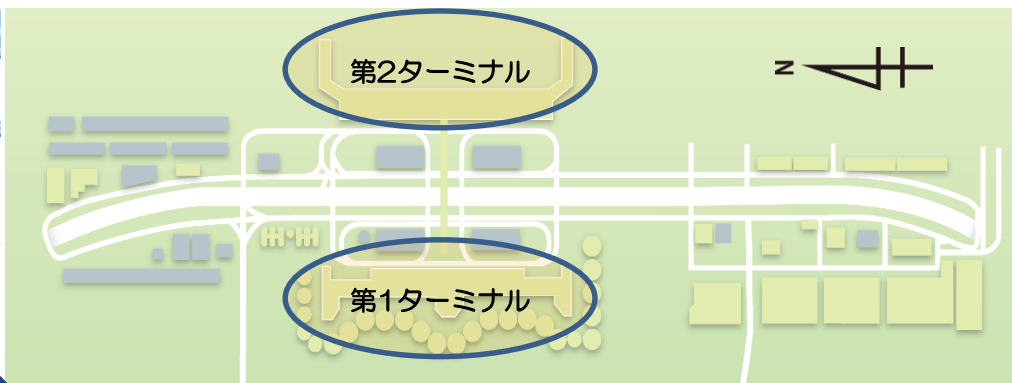
2019年11月8日

- 精密な水質検査を行い基準を満たすことを確認、8日のお昼過ぎに第2ターミナルを含む全ての施設への供給を再開

羽田空港内給水地域



国内線ターミナル付近拡大図



② 羽田空港内での断水への対応について

2019年12月11日

原因究明の状況	原因究明も同時並行で進めたが、当社管理下の給水施設では水道管の亀裂や破損など一切見られず問題はないが、現時点で塩分を含む水が外部から混入した原因について特定出来ていない。
水質の維持	問題発生以降、常時水質検査と外部からの水道水以外の混入も含め給水施設の点検を行っており、再発防止には万全を期している。 当社管理下の給水設備ならびに水質に関する検査結果を、午前と午後の2回、当社ホームページにて掲示中。
今後の原因究明	羽田空港の設置管理者である国において、「羽田空港給水障害事案に関する検討委員会」を設置し、12月5日に第一回を開催し原因の特定を続けているところ。当社はすべてのデータを提供して、全面的に協力していく。